



ブクブクちゃん

# みんなで とりくみましよう!

つなげよう、  
支えよう  
森里川海

## 1 メタボの森にしっかり 手を入れよう

日本の森の多くは手入れが不十分で、いわばメタボ状態。木をもっと活用して、いのちあふれる森をふやしましょう。広島県北広島町では、町内の木を薪にして利用することで、森に手が入るだけでなく、町外から石油やガスを買っていたお金が町内で使われるようになりました。



## 2 森里川海を利用して 災害にそなえよう

森をしっかり管理すると立派な木が育つだけでなく、さまざまな植物が根を張って保水力が高まるので、大雨が降った時の土砂崩れの防止にも役立ちます。川の上流の森に手を入れ、中流の湿原を再生し、田んぼなどが持つ水を一時的にたくわえる力を上手に利用して、大雨による災害をへらしましょう。



## 3 水の循環をとりもどして 地元の食べものと食文化を よみがえらせよう

「江戸前」の食文化など、日本では地元の食べものを使った独自の食文化が発達してきました。川と海のつながりを取りもどし、干潟を再生することで、ウナギやアサリなど地域の魚介類をふやし、食文化をよみがえらせましょう。福岡県柳川市では、干潟を再生することで、姿を消しつつあるアサリをよみがえらせようとしています。



## 4 身近にトキやコウノトリが 舞うような環境をつくろう

トキやコウノトリなどの大きな鳥やホタルが舞う場所は、私たちにとっても良好な環境です。こうした生きものをシンボルに、森里川海への負荷をへらして育てたお米や野菜を販売し、地域で様々な生きものと一緒にくらせる環境をつくりましょう。兵庫県豊岡市では、コウノトリのえさ場となる田んぼで、農業や化学肥料に頼らない「コウノトリ育む農法」にとりこんでいます。生きものにも健康にもやさしいお米が人気を集めています。

## 5 美しい日本の風景を 未来につたえよう

森里川海の雄大さや美しさは、人の心に感動や安らぎをもたらすだけでなく、観光にとっても重要です。森里川海での文化や暮らしを、地域の「物語」として未来につたえていきましょう。荒川上流の埼玉県秩父市と下流の東京都荒川区では、子どもと大人が一緒になって、流域の森里川海の恵みをつたえる絵本づくりにとりこんでいます。



## 6 森里川海で新しい 産業や仕事をつくろう

都市の企業が山あいの集落に事務所を開くことで新しい仕事生まれ、移住する人がふえている地域があります。交通網やITを活用して、森里川海に恵まれた場所で豊かな暮らしをつくりましょう。岡山県真庭市では、木を燃料に発電したり、木を原料に新素材を開発したり、新たな産業をおこして地元で雇用を生み出しています。



## 7 田畑を荒らすシカや イノシシから地域の暮らしを まもります

ふえすぎたシカやイノシシをへらすため、ハンターを育成して捕獲することが重要です。一方、こうした動物を食肉にした「ジビエ料理」が評判です。肉の処理施設を整備して、おいしいジビエとして価値を高める流通システムもつくりましょう。



## 8 森里川海を活かして健康で 心豊かな社会をつくります

地域の旬の食べものを使った栄養たっぷりの食事、伝統的な織物、温泉を活用したヘルスツーリズムなど、森里川海の恵みを活かした心豊かで健康な暮らしをしていきましょう。

